



原幼稚園で「認知症サポーター養成講座」を開催しました



認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になり、軽度認知障害（MCI）を合わせると、約4人に1人が認知症あるいはその予備群になるといわれています。40代の夫妻にそれぞれ65歳以上の両親がいたら、そのうち1人は、認知症か予備群かもしれません。認知症は、決して他人事ではなく、誰もが関わることです。自分が、家族が、認知症になっても、安心して暮らし続けられるようにするには、高齢者だけではなく、より多くの世代の人たち、そして、住民だけではなく、地域ではたらく人たちも巻き込んで、ひとりでも多くの人たちに関わってもらうことが大切です。

11月2日、原幼稚園の先生方16名の皆様に「認知症サポーター養成講座」を開催いたしました。民生委員など地域の皆様が講師となり「認知症の症状・治療・対応」などエピソードを交えながら説明して下さいました。後半は幼稚園の先生方と、地域の皆様と、立場を超えて語り合いました。挨拶などさりげない見守り合いが、認知症の人や家族だけでなく、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながるだろう、と話し合いました。1時間半の講座が終了し、16名の「認知症サポーター」が誕生しました。お住まいの地域で、また阿久和のまちで、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」となってくれることと思います。

この講座で幼稚園の先生方と出逢い、対象年齢は異なりますが、人と関わる仕事をするお仲間としてご縁をもつことができました。原幼稚園は、1968年から半世紀以上にわたり地域に根ざして活動をされています。

子どもたちがすくすくと育つまちづくりと、認知症になっても安心して暮らせるまちづくり・・・もしかしたら目指す道はとてもよく似ているのかしら、と感じました。

原幼稚園の園長先生を始め、先生方、協力いただきました地域の皆様、どうもありがとうございました。



阿久和地域ケアプラザでは
地域の皆様と協力して
認知症サポーター養成講座を
開催しています

認知症サポーター養成講座にご興味がありましたら、阿久和地域ケアプラザにお電話ください！

※認知症サポーターについて詳しく知りたい方はホームページ（QRコード）をご覧ください →



お電話やご来所のほか、**ZOOM**によるオンライン相談の対応も可能です。まずはお電話にてお問い合わせください。

あくわ通信は

横浜市阿久和地域ケアプラザ

が発行しています。

〒246-0026

横浜市瀬谷区阿久和南2-9-2

総合受付・電話番号：045(365)9892

福祉・保健に関する相談窓口：045(365)9906

(時間外は相談専用コールセンターに転送されます)

FAX：045(365)9894

【開館時間】

- 月曜日～土曜日
午前9時～午後9時まで
(月曜日～木曜日・土曜日は夜間の
部屋貸しがなければ午後6時まで)
- 日曜日・祝日
午前9時～午後5時まで
- 毎月第4月曜日
館内整備のため、部屋貸しは
行っておりません

【休館日】

- 年末年始(12/29～1/3)

※本紙記事での表示は、個人・団体の承諾を得て掲載しております。

